

## 動物薬の動き

(I 生)

有畜農業から主畜農業へと畜産振興が進むにつれて、家畜用薬品もその製造品目が変わってきております。戦前に於いては、伝染病を対象とした生物学的薬品が重点的に考えられておりました。

戦後数年間は畜産物の増産の過程であったので、繁殖障害、空胎除去に使用される薬品と、内部寄生虫による損耗防止薬等が伸びました。

現在に至っては、1頭1羽の生産性を向上させることが必要となり、これに伴って畜産の健康を保持

するために保健栄養剤が発達してきた。今後はビタミン、ミネラル、抗生物質等の飼料添加剤がおおいに開発されるであろう。